

## 2014年度事業企画委員会活動報告

### 1. 委員会の開催

4月22日、10月3日、12月18日

### 2. 協議事項

- (1) 都市対抗野球大会予選地区代表数の見直しについて
- (2) JABAパンフレットの制作について
- (3) 国内独立リーグに関する取扱要領の改正について
- (4) 社会人野球ファン層拡大策について
- (5) 新規事業に関する研究

### 3. 事業実施

JABAパンフレット(20000部)の制作  
2015年2月末完成予定

### 4. 理事会への答申

- (1) 都市対抗野球大会予選地区代表数の見直しについて  
都市対抗野球大会の予選地区代表数については、3年サイクルで見直し協議を実施することになっているが、第85回大会は記念大会として2チーム増の措置をとっているため、もう一年は現状のまま持ち越しとし、所属チームの各大会での戦績等を踏まえて2015年7月までに最終答申を提出する。
- (2) 国内独立リーグに関する取扱要領の改正  
四国アイランドリーグと北信越BCリーグによる「一般社団法人日本独立リーグ機構」設立を受けて、退団者の登録等に関する規制緩和に関する事項を答申した。  
(地域活性化委員会協議事項参照)
- (3) 社会人野球ファン層の拡大策  
別添ご参照

## 社会人野球一般ファン層拡大策

都市対抗（東京ドーム）は関東地区在住、日本選手権（京セラドーム）は関西地区在住の一般ファンに球場へ足を運んでもらえるような魅力ある大会にする事が最重要課題として捉えている。

問題点として挙げられることは

- ①特に社会的に社会人野球の認知度が企業関係者を除くと低い
- ②若い世代（20代～30代の女性及び小中学生）へのアプローチ不足
- ③JABA ニュース等（特典も含む）広宣が未熟

これらを解消するために長期的には10年後に一般ファン層を現在の2倍（6万人を12万人）を目標に設定し、短期的（2015年度・2016年度）な活動計画を立案する。

### 1. JABA 会員目標値

	2014年	2015年	2016年
関東7県合計会員数	1,936名	3,500名	5,000名
関西6件合計会員数	590名	1,500名	3,000名
全国合計会員数	6,058名	10,000名	15,000名

#### ①JABA 会員拡大策

##### ②JABA ニュースの内容・各種特典の充実化（外注→内注）

（各地区有望新人紹介、JABA カレンダー配布、読んで面白い情報提供）

##### ③地方県人会へのアプローチ、入会促進

（物産展やB級グルメコンテスト等、含む）

##### ④所属企業チームのOB会への入会促進

##### ⑤監督、コーチ、選手も全員で会員入会促進に協力し活動してもらう

（選手の父母の入会促進・選手1名が1名のファン獲得運動強化）

##### ⑥東京ドーム・京セラドーム・各JABA 大会球場にて入会促進強化

### 2. 認知度アップ策

#### ①JABA マスコットキャラクター誕生させ始球式他広報する（黒獅子君）

#### ②各チームのゆるキャラコンテスト実施

#### ③各地域で開催した野球教室のチーム（小中学生）を招待

### 3. 若年層世代へのアピール策

#### ①SNS 活用（フェイスブック）

#### ②小中学生の無料招待（試合の合間1時間を利用し子供用イベント計画）

#### ③若い女性向けにアイドルの始球式やサイン会

### 4. JABA ニュース充実化

#### ①JABA ニュース編集委員会設置

#### ②各地区連盟情報（毎月持廻りと、関東4回、関西2回、他7地区）

#### ③理事会決定事項の周知

#### ④優勝祝賀会やイベント情報 等